

2026年6月5日

●静岡県知的障害者福祉協会大会 優生思想と障害者福祉の課題

来月は津久井やまゆり園事件後 10 年の節目です。事件を通してさまざまな議論がなされ、優生思想の問題があらためて取り上げられました。今、私たちが考えるべき支援やそのあり方とは何でしょうか。今日はそれを考えてみたいと思います。今日の学びを通じて視野を広げていただけたらと思います。

1 はじめに

(1)自己紹介

・日本福祉大学社会福祉学部准教授、博士（人間福祉学）、社会福祉士、学生支援センター長。専門は障害者福祉論で、今日の福祉実践の課題について歴史的な角度から研究しています。具体的には、戦争と障害者をテーマにした研究と、それと関連した問題として優生思想の問題も扱ってきました。

・元々、障害者の旅行支援を通して大阪で障害者福祉の NPO の立ち上げと運営に携わっていました。現在、医学史研究会幹事、NPO ディフェンス理事、大阪精神医療人権センター面会スタッフ、社会福祉法人ぬくもり評議員、大阪市・名古屋市・愛知県・内閣府委員など。大学では、障害者福祉論、社会福祉発達史、近現代史などを担当しています。

・著書：『障害とは何か ―戦力ならざる者の戦争と福祉』（法律文化社、2017年）。『ソーシャルワーカーのための反『優生学講座』 ―「役立たず」の歴史に抗う福祉実践』（現代書館、2022年）。近著に、『わが子に障害があるとわかったときまず読む本』（KADOKAWA、2026年）など。



(2)エクスキューズ

(3)過去を振り返る意味

・歴史に学ぶ実践は歴史の積み重ねであり、歴史に学ばない実践は単なる繰り返しではない。

(4)お伝えしたいこと

- ・津久井やまゆり園事件後 10 年を振り返る。
- ・人の数値化に注意する。
- ・制度に目を向け、働きかけを

2 津久井やまゆり園事件後10年

(1)津久井やまゆり園事件について

(2)事件後の障害者福祉の動向

表 事件後の障害者福祉の動向

| 年 | 項目 |
|------|---|
| 2014 | ●障害者権利条約批准 |
| 2016 | ●障害者差別解消法、改定障害者雇用促進法施行 ●津久井やまゆり園事件 |
| 2018 | ●旧優生保護法違憲国家賠償請求訴訟 |
| 2019 | ●旧優生保護法一時金支給法 |
| 2022 | ●国連による日本審査、「日本の第1回政府報告に関する総括所見」公表 |
| 2024 | ●改定障害者差別解消法施行(民間事業者への合理的配慮の義務化) ●改定障害者総合支援法施行(入院者訪問支援事業創設、精神科病院での虐待通報義務化、地域生活支援拠点等の努力義務化、GHの支援に退去への相談支援含める、他) ●旧優生保護法国賠訴訟・最高裁判所大法廷判決 ●恵問題(愛知) ●政府「障害者に対する偏見や差別のない共生社会の実現に向けた行動計画」 |
| 2025 | ●手話施策推進法 ●旧優生保護法強制不妊補償金支給法 ●高次脳機能障害者支援法 |

出典) 藤井作成

(3)SNS での出来事

(4)事件後の議論で示されてきたこと

- ・「隠されるべき」「恥ずべき存在」との決めつけ、犯罪と結びつける問題。
- ・これら三つに通底する問題として、私たちが認識する「人」そのものへのまなざしの問題があり、そこに優生思想が深く根を下ろしていること。

→補助金ビジネスの横行と優生思想の問題との重なり

(5)福祉現場から優生思想に抗うには？

| 時代 | 項目 |
|-----|---|
| 戦前 | 明治 産業障害者 京都盲啞院 「廃兵」 私宅監置 優生学 1911年の節目(独・英・米) 1911年 大正 軍事救護法 社会局 盲学校及聾啞学校令 IQ検査 震災・セツル・医療の社会化 |
| 戦後 | 昭和前期 愛護協会 優生運動 保健国策 障害年金 人口政策 T4作戦(独) アジア・太平洋戦争 1945年 昭和中期 「火垂るの墓」と児童福祉 身障福祉法 優生保護法 援護法 日患同盟 「生活史上の三つの危機」 安楽死協会 不幸な子どもが生まれない運動 精神病院建設ブーム 親の会 コロニー 雇用促進法・障害福祉年金 沖縄復帰 |
| | 昭和後期 養護学校義務化 当事者運動 宇都宮病院事件 無年金障害者問題 薬害・公害・難病 1979年 |
| | 平成 GH 精神保健福祉法 発達障害 母体保護法 特別支援教育 2016年 障害者自立支援法全国訴訟 障害者権利条約 津久井やまゆり園事件 |
| 令和 | 合理的配慮義務化 優生保護法違憲判決・旧優生保護法補償法 |
| 戦前? | () |

